

れんけいニュース

Vol. 20



「種田山頭火の句」 佐々木 幸子

<Contents>

- ◆ 地域医療連携室からのご挨拶(地域医療連携室 室長 菊池 俊彦)…P②
- ◆ 新医局員紹介／紹介状況・紹介率について…P③
- ◆ 地域医療連携運営会議を開催しました…P④
- ◆ 介護連携セミナーを開催しました…P⑤
- ◆ 部門紹介(医療福祉相談室) …P⑥
- ◆ 診療チーム紹介(排尿ケアチーム) …P⑦
- ◆ お知らせ…P⑧

地域医療連携室からのご挨拶

由利組合総合病院 菊池 俊彦
地域医療連携室室長



由利組合総合病院地域医療連携室を代表して、ひとことご挨拶申し上げます。

皆様ご存知のように、現在わが国では人口の高齢化が急速に進行しており、特に秋田県がその最先端を歩んでおります。高齢の患者さんは入院することによってさらに足腰の衰えを誘発し、そのためにご自宅への退院が困難になることもしばしばみられます。

私たち連携室では、一昨年に設置された退院支援専従看護師を中心とした退院支援チームにより、業務が円滑に進むように努めてきました。しかしながら、このためには地域の医療機関や介護施設との密接な連携も必要不可欠です。

今年は2月に第2回介護連携協議会を開催し、また8月には地域医療連携運営会議を行いました。いずれの会議でも、多くの皆様にご参加いただき、いろいろな事柄について率直なご意見をうかがうことができました。あらためてお礼を申し上げます。このような地域の皆様との連絡会は今後とも継続・発展させていきたいと考えておりますのでよろしくお願い申し上げます。

時代は令和に変わりましたが、私たちの活動に大きな変化はありません。今後ともよりよい地域連携をめざして、スタッフ一同努力していきますので、よろしくお願いいたします。



新医局員紹介

※(): 卒年 ①専門 ②趣味 ③一言



小児科 科長
井上 雅貴 (H20)
②歴史



循環器内科
小野 優斗 (H27)
①循環器内科
②海外旅行
③よろしくお願いします!!



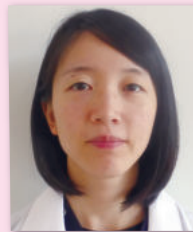
消化器内科
岩塚 邦生 (H19)
①消化器病学一般
②旅行
③福島県出身のこともあり、東北地方で働けることを楽しみにしていました。皆様よろしくお願いします。



小児科
桑山 信希 (H29)
②ドライブ・旅行
③よろしくお願いします。



循環器内科
貝森 亮太 (H26)
①循環器内科
②水泳
③明るく頑張ります。よろしくお願いします。



脳神経外科
桑山 実喜子 (H29)
②マラソン
③よろしくお願いします。

地域医療連携室紹介状況・紹介率について

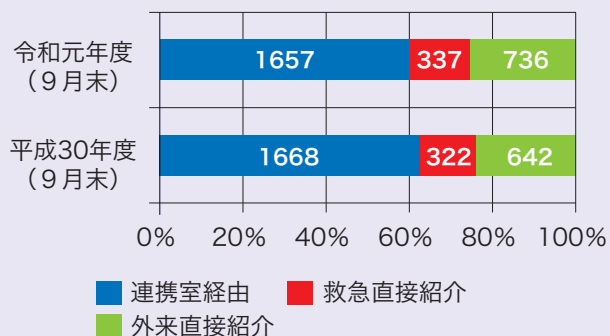
患者紹介件数は全体で前年度を上回る結果で推移しています。

連携室経由の患者紹介件数は、前年度比較で大きな差はなく、救急外来や診療時間内外来へ直接持参される件数が増加しています。診療報酬上の紹介率も増加傾向にあります。

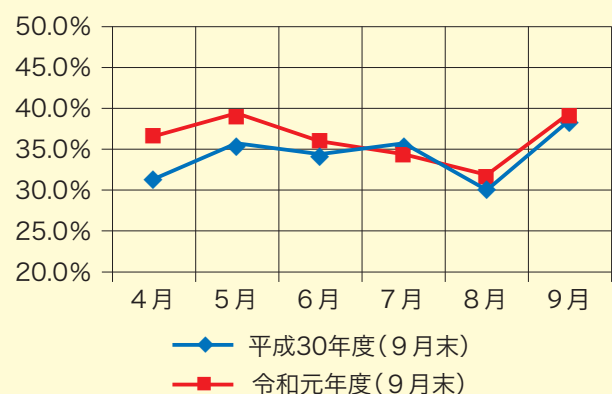
診療時間内の外来診療において直接受診された場合、受付人数制限や急遽休診、待ち時間が長くなることが想定されます。

連携室を経由の場合は、各外来と受診日時の調整をしておご連絡しています。紹介時はご活用ください。

紹介患者状況



紹介率(%)【診療報酬上】



地域医療連携運営会議を開催しました。(令和元年8月)

病病連携・病診連携のつながりを深める一環として、由利本荘医師会・歯科医師会の先生方と地域医療連携に関する意見交換を交えた協議会を8月に開催しています。協議会では、紹介・逆紹介の状況や地域医療連携に関するアンケート結果報告、訪問看護の利用状況報告を行い、意見交換を行わせていただきました。

さらに、特別講演として消化器内科 診療科長 道免 孝洋先生より、『胆膵内視鏡診療の現状－E R C Pを中心に－』をテーマに講演して頂きました。



〈特別講演〉

「胆膵内視鏡診療の現状－E R C Pを中心に－」

由利組合総合病院 消化器内科 科長 道 免 孝 洋

我々消化器内科で扱う疾患は大きく分けて消化管、胆膵、肝疾患ですが、そのうち胆膵疾患の診療において大きな役割を担うのがE R C P(内視鏡的逆行性胆膵管造影検査)です。E R C Pは使用するスコープが進行方向の見えない後方斜視鏡であることや、非常に小さく複雑な構造である十二指腸乳頭にアプローチする手技であることから、消化器内視鏡のなかでも難易度が高いとされますが、当院では胆道炎の緊急ドレナージといった緊急・重症例も含め、積極的に行っています。

E R C P手技は非常に多岐にわたります。診断目的であれば培養・細胞診・組織診等検体の採取、I D U S(管腔内超音波内視鏡)を用いた腫瘍の進展範囲診断、胆道鏡を用いた直接的な胆膵管内観察などが可能です。また治療目的であれば胆管結石除去や良性・悪性胆管狭窄に対する胆管ドレナージ、膵石症の治療など実に広範です。

この分野のデバイスの進歩は目覚ましいものがあります。例えば胆管ステントひとつとっても材質、サイズ、形状など様々存在しますが、患者さんの病態・予後など、さらにはコスト面までを総合的に判断しながら最善と思われる種類を選択していく必要があります。また、過去には開腹手術を要していたような巨大な胆管結石も、新型デバイスを用いることにより内視鏡的に除去が可能になりました。

近年E U S(超音波内視鏡検査)が全国的に盛んになってきています。過去には緩和ケアに移行せざるをえなかったような胆膵進行癌症例に対しても、E U Sガイド下胆道ドレナージにより予後、Q O Lの改善が得られるようになりました。E U Sは今後も全国的に広がっていくと考えられ当院でも自己研鑽に努めています。

胆道感染症、閉塞性黄疸などは容易に敗血症に陥ることが多く、治療タイミングを誤れば短時間で急変し死に至る病気です。日頃から顔の見える密な医療連携を行うことにより、治療に最適なタイミングを逃さず、E R C P等を含めた対応も迅速に行えるのではないかと考えております。医師会の先生方におかれましては今後ともご指導、ご鞭撻の程、宜しくお願いいたします。



介護連携セミナーを開催しました。(令和元年8月・9月)

医療と介護の連携をより深めていくことを目的に令和元年度も継続して『介護連携セミナー』を開催しています。

第2回 介護連携セミナー 令和元年8月9日(金)

『高齢者救急 あれこれ』 ～知っておくと役立つ応急処置～

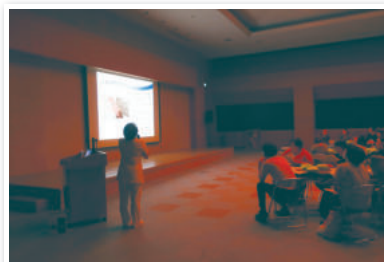
講師：救急看護認定看護師 尾留川 真理

- ・講演：高齢者の身体的特徴を踏まえた症状観察時のポイントについて
- ・実技：胸骨圧迫体験

< 高齢者の身体的特徴 >

- 複数の疾患を持ち、合併症を起こしやすい、薬の副作用が出現しやすい
- 自覚症状が現れにくい、意識障害や一過性のせん妄が出現しやすい
- 高齢者の身体的特徴は多様でより注意深い観察が必要になります。

セミナーでは、多様な特徴を踏まえて近年の猛暑により多発した熱中症や意識消失、誤嚥・誤飲などポイントについての講演や胸骨圧迫体験、腹部突き上げ法の実演を行いました。



第3回 介護連携セミナー 令和元年9月18日(水)

移乗介助のポイント ～“手間をかけて” 介助を楽に～

講師：リハビリテーション科 理学療法士 中村 信也、豊村 謙、高成 悠紀

- ・講演：移乗介助のポイント
- ・実技：介助時の各姿勢・パワーポジション・スライディングシートの活用

移乗介助時に“手間をかけて”ことは、利用者、介助者ともに楽な介助につながります。

人間本来の動きやパフォーマンスを発揮する上で大きなメリットになるパワーポジション、福祉用具（スライディングシート）の活用について知ってもらい、実際に様々な姿勢や福祉用具（スライディングシート）の体験をしてもらいました。



部 門 紹 介

医 療 福 祉 相 談 室

医療ソーシャルワーカー 佐々木 沙 織

当院医療福祉相談室には社会福祉士や精神保健福祉士の資格を有する専門の相談員（医療ソーシャルワーカー）が4名在籍しております。院内連携・院外連携のもと支援が必要な患者様へ積極的な介入を行っております。

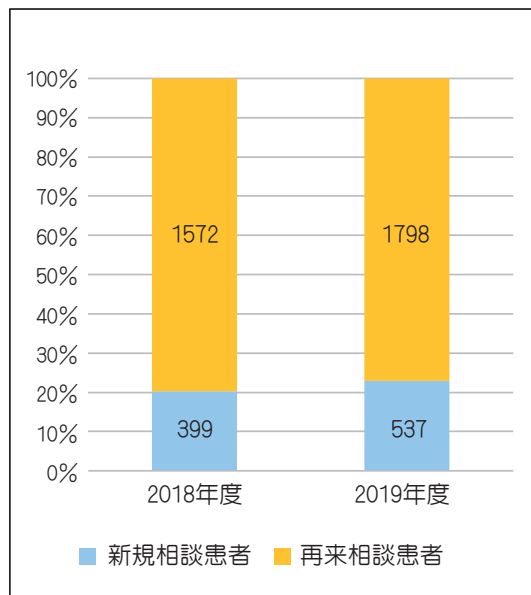
病気になると健康なときにはなかった様々な心配事が起こります。医療ソーシャルワーカーは患者さんご本人やご家族の不安なことや気がかりなことについて、各種制度や社会資源を利用し問題解決の支援をします。例えば、入院治療や外来治療を受けるにあたり出てくる問題として医療費の心配やお仕事の心配があると思います。また、治療をしながら地域で生活するとなると介護の問題や生活状況の変化への不安も出てくると思います。これらの他にも様々な心配事や不安が起こります。病気による不安や心配事があっても、誰に相談したら良いのか分からないそんな時もあるかと思います。そのような時は当院相談室にご相談ください。お話を伺い、問題解決に向けてお手伝いをさせていただきます。相談は予約不要です。お気軽にご相談ください。電話相談もできますので、遠方でなかなか相談に来ることができない場合などご活用ください。心配や不安なことはあるが何を相談したら良いのか分からないという方もいらっしゃると思います。医療ソーシャルワーカーと一緒に考えますのでひとりで悩まずにぜひご相談にいらしてください。どうしたら良いか分からない時、まずは相談を！

皆様に支えられ、相談件数も増加傾向にあります。医療スタッフや地域関係機関との連携も密にさせて頂いており、多方面より当院相談室をご紹介頂いております。今後も多方面との連携のもと、患者さんご本人やご家族が病気による不安や心配事への不安の少ない状態で治療に向かっていけるよう支援できればと考えております。今後もみなさんが相談しやすい相談室であるよう努めて参りますのでご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

ソーシャルワーク業務状況（※9月末時点累計 年度別比較）

	件数		件数 増減	構成比率	
	2018年度	2019年度		2018年度	2019年度
療養上の問題援助	460	927	467	12.1%	19.9%
地域関係機関との連携	678	816	138	17.8%	17.5%
医療スタッフとの連携	1290	1420	130	33.9%	30.5%
法制度の活用援助	953	1057	104	25.0%	22.7%
経済的援助	76	93	17	2.0%	2.0%
社会復帰援助	4	13	9	0.1%	0.3%
日常生活援助	5	13	8	0.1%	0.3%
家庭問題援助	0	6	6	0.0%	0.1%
退院援助	97	99	2	2.5%	2.1%
心理・情緒的援助	38	39	1	1.0%	0.8%
訪問相談	0	0	0	0.0%	0.0%
その他	87	85	△ 2	2.3%	1.8%
受診受療援助	121	83	△ 38	3.2%	1.8%
計	3809	4651	842		

相談患者状況（※9月末時点累計）



診療チーム紹介

排尿ケアチーム

排尿ケアチーム 看護師長 猪股 由紀子

2016年診療報酬改訂により排尿自立指導料が新設されました。当院でも「排尿自立」を目指して多職種からなる排尿ケアチームが発足し、院内ラウンドを行っています。これは、排尿ケアが日常生活を支援する看護の基本的な技術から、専門的な技術として明確に位置付けられたことを示しています。そして「排尿自立」とは、一度失われても適切なケアにより取り戻すことができる可逆的なものであることを意味しています。

＜構成メンバーについて＞

排尿ケアチームは、泌尿器科医師 3 名、皮膚排泄ケア認定看護師 1 名、所定の研修を修了した看護師 3 名、理学療法士 1 名、作業療法士 1 名、医事課職員 1 名で構成されています。

＜活動について＞

活動日は毎週木曜日であり、活動内容としてはミーティングを行なった後にラウンド実施、ラウンド後にカンファレンスを行っています。

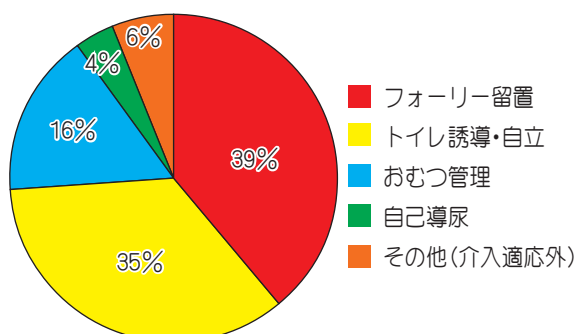
排尿ケアチームに依頼があった場合は、ケアチームの看護師が情報を収集し排尿日誌や残尿測定などを指示し排尿ケアチームの回診時に評価しています。病棟との連携をとるために排尿ケアチームフローを作成し、病棟看護師が排尿トラブル時にいつでも相談できるようにしています。1 年間に排尿ケアチームに依頼があったのは49名でした。依頼の多かった診療科は、整形外科、脳外科でした。依頼の時期はほとんどが尿道カテーテル抜去のトラブルであり、尿閉による排尿トラブルが半数を占めています。転帰としては、排尿自立は17件、尿道カテーテル再留置となり転院又は退院が19件、自己導尿 2 件でした。

＜今後の取り組みについて＞

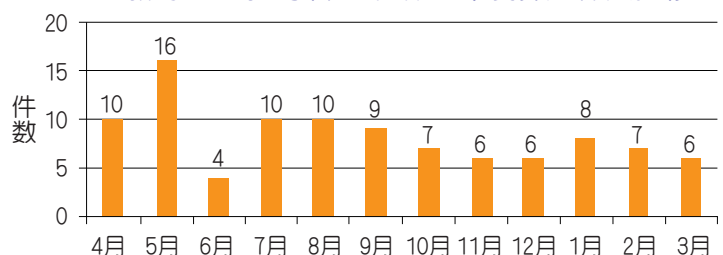
早期に介入し適切なケアを提供することで排尿自立が獲得できることが多いことがわかっています。尿道カテーテルを長期挿入していることで尿路感染症や敗血症のリスクが高いことも周知されています。早期に尿道カテーテル抜去に向けた働きかけを排尿ケアチームが行い、漫然と尿道カテーテルが挿入されていることのないように、排尿ケアの重要性に対して医療スタッフの意識の変容につめていくことが大きな役割と考えています。



介入後の排尿状況（項目別）



排尿自立指導料 平成30年度算定件数推移



男性28名 女性21名 計49名
平均年齢77.8歳

お知らせ

患者様のご紹介は、連携室へ

- 外来診察日の変更や人数制限等がある場合もありますので、事前にFAXにてお申込みいただけますと受診日を調整し、FAXにて受診票をお返しいたします。
(各申込様式は、当院のホームページからもダウンロードできます)
- ※紹介頂いたお申込について可能な限り当日に受診票をお返ししていますが、申込内容や診療科の状況により、当日中にお返事をお返しできない場合もあります。ご理解の程よろしくお願い致します。
- ※個人情報の取扱い(記載間違いなど)に十分にご注意下さいます様、お願いいたします。状況により、こちらから確認させていただくこともありますのでご理解・ご協力の程よろしくお願い致します。

診察希望医師の指定について

- 新患の患者様の場合やご紹介の内容によって、新患担当医師または専門医師が診察を行うことがあります、ご希望の医師の診察にならないことがあります。
- 診察医のご希望がある場合は、『診療申込書』にその旨をお書き添えの上、お申し込み下さい。

MRI・CTの申込について

- 『診療申込書』をFAXでお送り下さい。
- MRIの場合は『検査前チェックリスト』も一緒にお送り下さい。
- ※造影申込の際は、MRI・CTともに『同意書』と『クレアチニン値』が必要です。

<受付時間について>

- 新患受付 8:00~11:00
- 再来受付(院内受付機) 7:00~11:00
- 再来受付(院外受付機) 7:00~10:00
- ※皮膚科の午後診察は、従来通りです
- 脳神経外科 7:00~10:30
- ※脳神経外科は終了時間が早くなっておりますのでご注意ください。

<年末年始の診療及び診療体制について>

- 休 診:12月28日(土)~1月5日(日)
- 通常診療:1月6日(月)~

※救急患者様につきましては、救急外来にて随時受付致します。

※地域医療連携室も同様に休診期間中は稼働しておりませんので、紹介の際はご注意ください。

ご不便をおかけ致しますが、ご理解とご協力の程宜しくお願い致します。

★由利組合総合病院 地域連携センター★

月曜日~金曜日(祝祭日を除く) 8:30~17:00 ※時間外は救急室へご連絡お願い致します。
 地域連携・入退院支援 TEL 0184-27-1293 (直通) 医療福祉相談 TEL 0184-27-1264 (直通)
 FAX 0184-27-1318 (直通)